

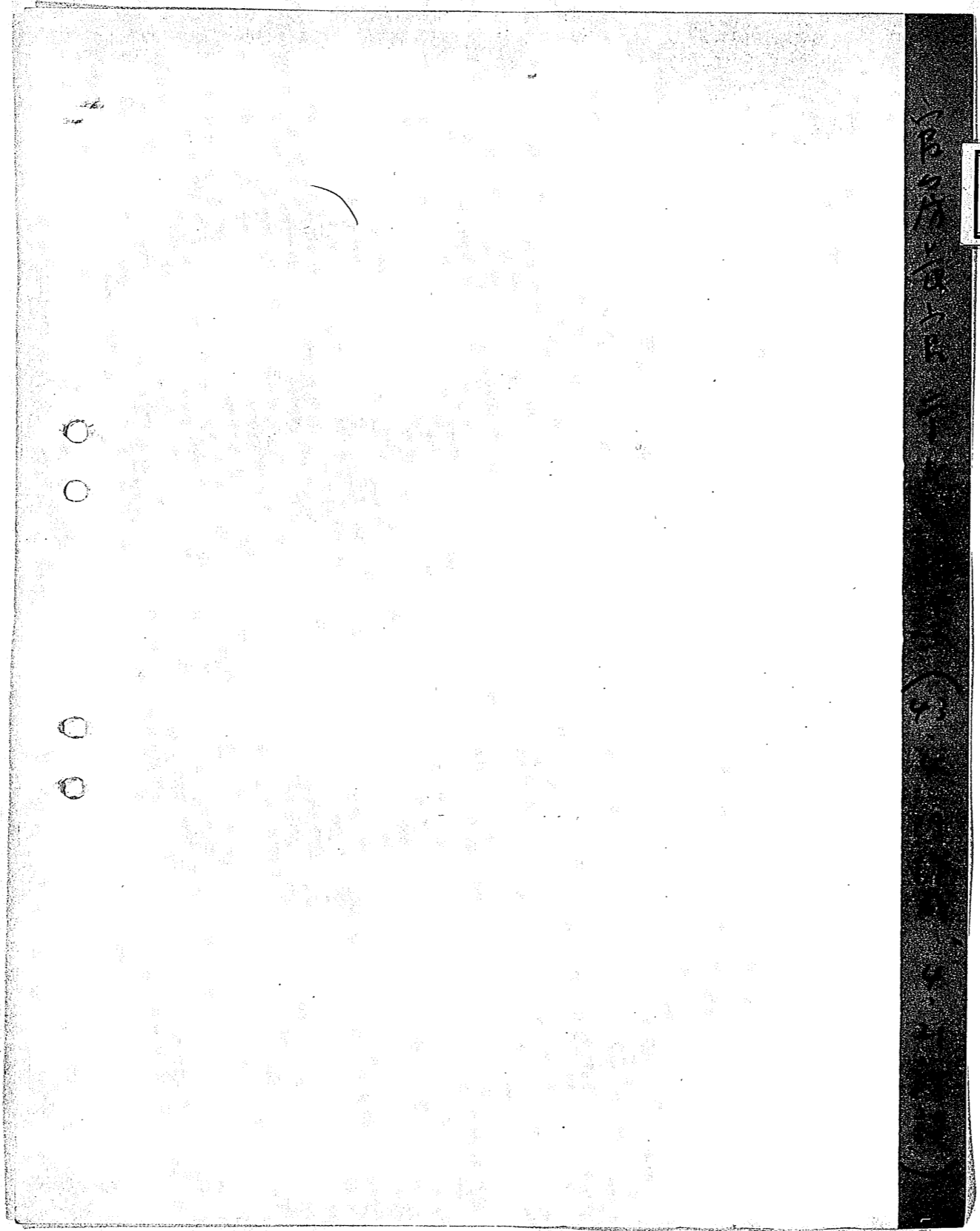
# 琉球大学学術リポジトリ

## 沖縄返還交渉資料第4巻

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-07 キーワード (Ja): 総理訪米, 米国人記者との会見, 総理, 愛知外相, ニューヨーク・タイムズ, 愛知外相・ロジャーズ長官会談, 統合局長・スナイダー会談, 記者会見, 外相, 官房長官, 米国下院歳出委員会対外活動分科委非公開聴聞会, スナイダー国務省日本部長 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43630">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43630</a>

7.1.10

山本 隆之介 先生 対談  
(43.4.19 作成、4.21 対談)



7-6

大臣 毛  
事務次官 岸  
官務長 長

北米局長 高 極秘  
参事官 菅

南米課長 北米課長

国会討論会(対米討議)のための官庁長官用資料

ウヰエトナム和平と沖繩返還の時期

43. 4. 19. 米北

謝 佐藤総理

1. 昨年11月の佐藤シニソノ会談の結果日米両政府は、2-3年内に、沖繩返還の時期に對

合意する旨強調した。今後の沖繩の地位に關する日米間の検討に當つては、この兵

考慮されることに對する。従つて、沖繩返還の時期に對しては、西三年のうちに、かゝつて確信

を得て、具体的に1-2年後に返すといふことに對しては、今より早急にする必要はない

今後の話し合ひの結果にもよることは、今から断定的な事は云へない。西三年の間に、かゝることは、かゝる

先、沖繩と在米の米兵の返還問題は、

吉川  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○

2. 沖繩の返還の時期を決定する要素として、返還後の基地のあり方の問題

と含め、数多の要素がある。極東の情勢の推移もその一つである。

ウヰエトナム和平問題

1. 今回のシニソノ会談で沖繩返還の時期に關する関係は論じられてきた

(1) どのようによつて解決されるか (2) どのようによつて解決されるか

① 今回の声明は、ウヰエトナム和平問題自体の解決と、(2) ウヰエトナム和平問題の極東情勢の中にある

大きな問題と見えてゐる。この二つの問題と見えてゐる。この二つの問題と見えてゐる。

母の兵に對しては、今回の声明は、ウヰエトナム戦争の当事者たる米兵と北越

の間に直接の接触を禁ずる道を開いたこと、高く評価されるべきである。

和平に対する双方の立場は対立が大きい  
へたりがあり、ウズベクと平和の実現には

かなりの曲折があると思ふ。従って、  
今日のウズベク声明を踏まえ、ウズベク  
側は今後のウズベクとの交渉にどうあるべき  
和平の動向に対する心理的好影響は過  
ぬるとして、そのことからウズベクと  
は、~~ウズベクとの交渉は~~早め早めすべきか、~~何~~何かの

和平の動向を云々する時期尚早である。  
また(2)の条項にウズベクと平和の  
形は和平の達成に必要(ウズベク側)に  
向けての交渉が先行する(解決促進のため)

実現した場合、極東情勢の好ましき影響を  
及ぼすことは事実である。これを中絶を  
良好な背景を作り出し、これに足る。尤もウズベク  
側は、~~ウズベクとの交渉は~~早め早めすべきか、~~何~~何かの  
結果は、~~ウズベクとの交渉は~~早め早めすべきか、~~何~~何かの

安全保障上の役割を見究め、~~何~~何  
年を経た結論を要する。これは出来ず。  
以上で、我々の利益に反し、解決が望ま  
れず、~~ウズベクとの交渉は~~早め早めすべきか、~~何~~何かの

水掛け水はならず。ウズベクと平和即ちウズベク

ウズベクと平和  
内閣が早期に  
実現し、~~ウズベクとの交渉は~~早め早めすべきか、~~何~~何かの

言明 <sup>あり</sup> は ウズベクとの解決をいふウズベク  
側との見解を述べ、~~ウズベクとの交渉は~~早め早めすべきか、~~何~~何かの

2. 他方、ウズベクとの交渉問題は、ウズベク  
側、ウズベク側と、極東の安全保障の

上は果す役割と、戦後二十余年以内  
に、ウズベク側同胞と外国の施設下

にあるという不自然な状態を一日も  
早く解消し、~~ウズベクとの交渉は~~早め早めすべきか、~~何~~何かの

ウズベクとの交渉は、如何に迅速に  
いかん、極東の情勢の推移のため

ウズベクとの交渉の時期を決定する要因では、~~ウズベクとの交渉は~~早め早めすべきか、~~何~~何かの  
従って、ウズベク側とウズベクと平和の

に、~~ウズベクとの交渉は~~早め早めすべきか、~~何~~何かの  
ウズベクとの交渉の時期は、~~ウズベクとの交渉は~~早め早めすべきか、~~何~~何かの

ウズベクとの交渉の時期は、今後の日米間の検討

5.  
にかつていふことか。理美の字下あり  
与党の責任ある立場にある者として。二の序

にかつて。未確定要素は否含む問題に  
ついでに推定を行ふことは避けた。

国会討論会(テレビ対談)のための官房長官用資料

ヴェトナムと平和と沖繩返還の時期

昭和四三、四、一九  
外務省北米局

一 昨年十一月の佐藤・ジョンソン会談の際、佐藤総理より、日米両政府が、ここ兩三年内に、沖繩返還の時期につき合意すべき旨を強調され、今後の沖繩の地位に関する日米間の検討に当たっては、この点も考慮されることになつてゐる。従つて、沖繩返還の時期については、兩三年のうちにもドがつくと確信してゐる。それでは具体的に何年後になるかといふことについては、今後の話し合いの結果にもよることであり、今から断定的な事をいふのは必ずか

北米局長

参事官

北米課長

午後三時三十分(戻り)

の二つである。

ヴェトナムと平和問題が沖繩返還の時期にどのように影響するかの問題については、(一)今回のジョンソン大統領の声明のヴェトナムと平和問題自体に対する意義と、(二)ヴェトナムと平和の動きが極東情勢に与える影響の問題とを考へてみる必要がある。

今回の大統領声明は、ヴェトナム戦争の当事者たる米國と北越の間に直接接敵の道を開いた点において高く評価されるべきであるが、和平に対する双方の立場にはなお大きな差があり、ヴェトナムと平和の實現にはなお迂余曲折があると思ふ。従つて、今直ちにこの動きが沖繩にどういふ影響を及ぼすかは、なんらかの形で和平への動きが具体化して行く場合、沖繩問題解決促進のためきわめて良好な背景を作り出して行くことは疑いない。ただ沖繩問題は、仮りにヴェトナムと平和問題が早期に實現されたとしても、いろいろ考えられる極東情勢の中において、沖繩の

果す安全保障上の役割を見極めた上で、わが国の利益に反しない解決が図られなければならず、ウ、エトナム和平、（中略）沖繩返還実現、あるいはウ、エトナムの解決なくして沖繩返還の目途立たず、というものではない。

≡ 他方、沖繩返還問題は、沖繩がわが国を含む極東の安全保障の上に果す役割りと、戦後二十余年間にわたりわが国同胞が外国の施政権下にあるという不自然な状態を一日も早く解消したいという国民の総意という二つの要素をいかに調整するかにかかっており、極東の情勢の推移のみが、沖繩返還の時期を決定する要因ではない。

沖繩返還の時期は、今後の日米間の検討にかかっていると、このことが現実の姿であり、与党の責任ある立場にある者として、この席において、未確定要素を含む問題についての推定を行なうことは避けたい。